



ふるさとの自然 14

スマートな貴婦人 シラサギ

田植えの時期になると、真っ白でスマートなシラサギの姿をよく見掛けるようになります。

●市内のシラサギは4種類

シラサギとは体の色が白いサギの仲間をまとめて言う呼び方です。市内には体の大きな順にダイサギ、チュウサギ、コサギ、アマサギの4種類のシラサギの仲間が住んでいます。この中で最も数が多いのは写真のチュウサギで、春に東南アジアなどの南の国から渡って来ます。

●餌は水辺の生き物

シラサギの仲間はドジョウ、ザリガニ、小魚、カエル、イナゴなどの水辺に住む小動物を食べます。種類によって餌を捕る場所や餌の種類が少しずつ違って、互いの競争を避けて暮らしています。しかし、開発などによって水辺の環境が少なくなり、数が減っています。

●鮮やかに装う

春はシラサギが最も美しくなる季節です。優雅な飾り羽が伸び、それを広げて求愛します。さらにくちばしや目先、脚までが鮮やかな色に変わります。美しい羽は、かつては帽子などの飾りに使われていました。日本画にもよく描かれ、サギのしぐさを取り入れた「サギ舞」の踊りも各地に残っています。

●サギ山で子育て

サギの仲間にはいろいろな種類が1か所に集まって巣を作る習性があり、そのような場所は「サギ山」と呼ばれています。かつては市内にいくつもありましたが、今では新川に近い1か所だけになりました。そこではシラサギと一緒に、灰色で大きなアオサギや黒っぽいゴイサギも繁殖していて、県内でも数少ない繁殖地の一つになっています。

(齊藤敏一)

編集こぼれ話

4月の人事異動により、広報の担当になりました。よろしくお願ひします。使い慣れない大きなカメラを持ち、取材に出掛けています。なかなか思いどおりの写真は撮れませんし、どのような写真がよいのかも、まだよく分かりません。そして取材してきた内容を記事にしていのですが、文章を書くことにも慣れていないため、内容がきちんと伝わるのかとても不安です。広報を編集していく中で、先輩から教えていただくことをよく聞いて、伝える力を身に付けていきたいと思ひます。(コ)

イキイキ

あさひっ子



ふうか
楓華ちゃん

平成22年7月10日生
両親＝嶋田篤さん
和美さん〔平松〕

「シャンシャンシャンが大好きだよ♡早くお外で遊びたいなあ♪」

けんしん
健心ちゃん

平成22年8月28日生
両親＝椎名則行さん
きみ枝さん〔イ〕

「ぼくはウルトラマンが大好き! いつもお父さんと一緒に遊ぶんだ」



りあな
梨亜奈ちゃん(左)

にいな
仁衣奈ちゃん(右)

平成19年8月12日生
平成21年9月3日生
両親＝高木正裕さん
真由美さん〔長部〕

「お世話好きなお姉ちゃんと、元気いっぱいな妹。仲よし姉妹♡」

“イキイキあさひっ子”を大募集

掲載を希望する人は、秘書広報課広報広聴班(〒289-2595 旭市二の1920・☎62-8070)へ。

対象は、小学校入学前の幼児です。申込用紙は、旭市保健センター、飯岡保健センター、秘書広報課にあります。

くらしのカレンダー

3日(火) 憲法記念日

4日(水) みどりの日

5日(木) こどもの日

8日(日) 旭市民陸上競技大会、母の日

29日(日) 春のゴミゼロ運動(午前8時～)